

お知らせ

令和3年8月20日

令和3年8月24日【数値訂正】

■同時発表先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

令和3年8月12日からの降雨における 斐伊川放水路、尾原・志津見ダムの効果について【速報】

令和3年8月12日からの前線にともなう降雨の影響で、斐伊川流域では降り始めからの流域平均累加雨量が252.4mmを記録しました。

今回の出水では一連の降雨により、令和3年8月14日に斐伊川放水路へ最大約570m³/sを分流しました。

(平成25年6月完成以降通算で17回分流 (令和3年8月20日時点))

斐伊川では、斐伊川放水路と尾原ダム・志津見ダムを運用することにより、斐伊川下流(灘分)で93cm、松江地点(宍道湖)で40cmの水位低減効果があったと推定されました。結果として、松江水位観測所では避難指示の目安となる氾濫危険水位超過を回避しました。

また神戸川では、志津見ダムの運用と河川改修により、馬木地点にて11cmの水位低減効果があったと推定されました。

※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

斐伊川放水路分流堰付近 (8/13 11:00頃)



島根県出雲市大津町 分流堰左岸上流



島根県出雲市大津町 堰下流左岸

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技) おおが よしかず
大賀 祥一

副所長(技) ひらい まさゆき
平井 雅之

【担当】計画課長 おおやま りく
大山 璃久 (出水の概要に関すること)

管理第二課長 からすだ かずひこ
烏田 和彦 (施設整備効果に関すること)

0853-20-1761 (計画課直通) 0853-20-1754 (管理第二課直通)

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1 電話：0853-21-1850(代表)

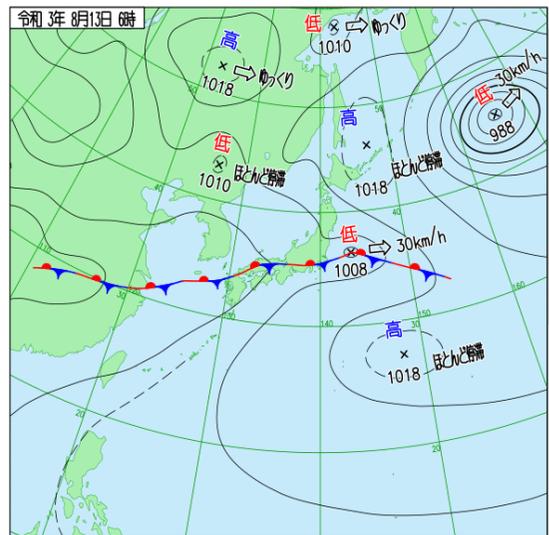
ホームページURL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

令和3年8月12日からの降雨による出水の概要

1. 天気概況

前線の活発な雨雲の影響で島根県東部で8月12日の明け方から雨が降り始め、13日の明け方以降、ところにより強い雨が降り続いた。

■実況天気図 (気象庁ウェブサイトより)

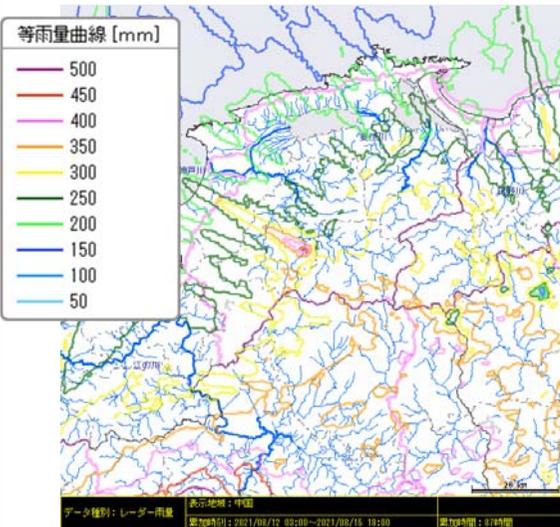


2021/8/13 6:00時点

2. 降雨状況

斐伊川流域では8月13日の明け方を中心に強い雨が降り、斐伊川流域平均累加雨量が252.4mmを記録した。

■等雨量曲線図 (国土交通省作成)



累加時刻: 2021/8/12 3:00~8/15 18:00
累加時間: 87時間

3. 出水状況

木次観測所(28.4k) 平常時



新伊萱観測所(24.1k) 平常時



灘分観測所(4.1k) 平常時



8/14 21:00



8/14 21:00



8/14 24:00



馬木観測所(10.7k) 平常時

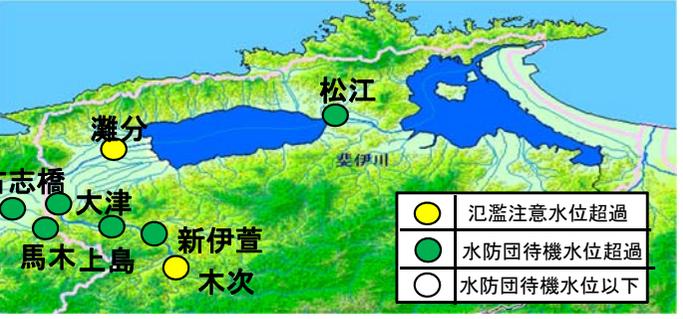


8/13 11:20頃



令和3年8月12日からの降雨による出水の概要

4. 各水位観測所の出水状況(国管理)



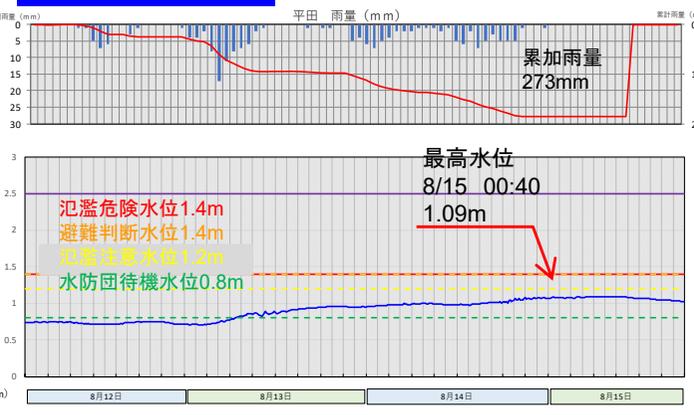
今回の降雨により氾濫注意水位を超えた観測所は木次と灘分の2箇所。

凡例(水位)	計画高水位	はん濫危険水位	避難判断水位	はん濫注意水位	水防団待機水位	実績水位
凡例(雨量)	時間雨量	累計雨量				

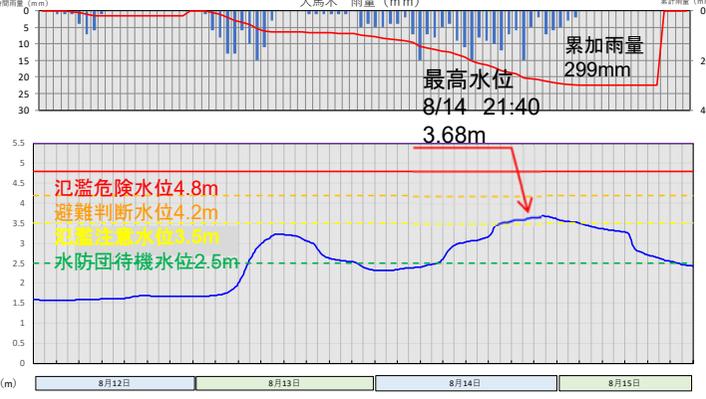
上島(斐伊川)



松江(宍道湖)



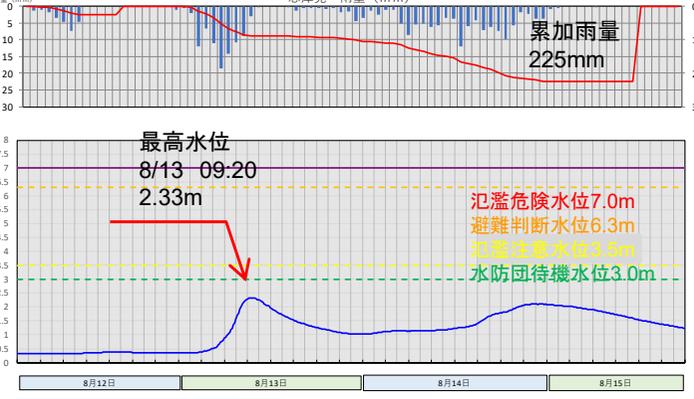
木次(斐伊川)



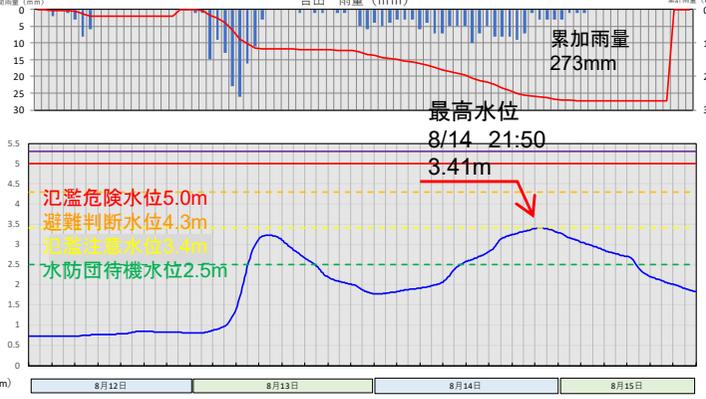
大津(斐伊川)



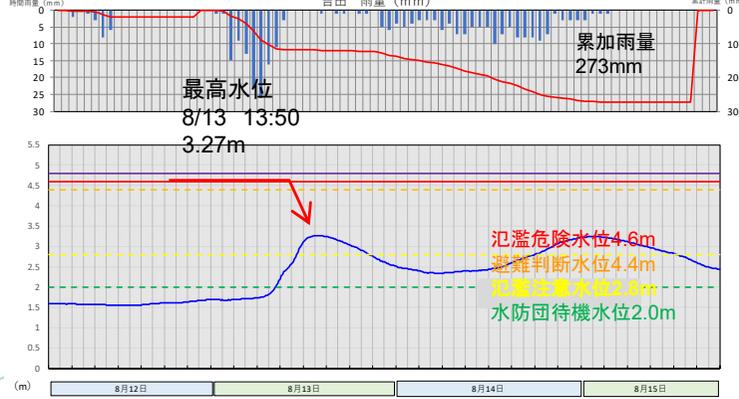
馬木(神戸川)



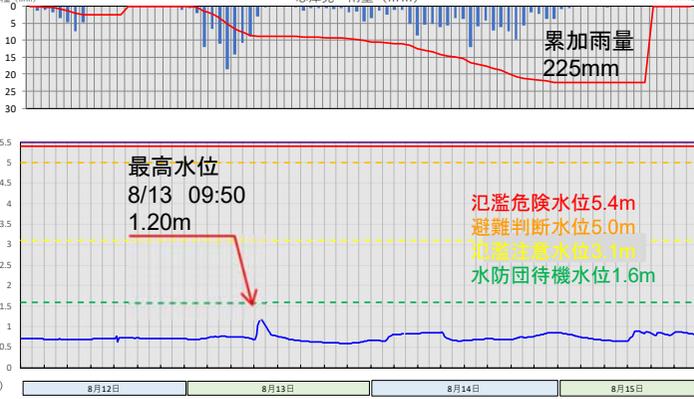
新伊萱(斐伊川)



灘分(斐伊川)



古志橋(神戸川)



令和3年8月12日からの降雨による出水の概要

5. 事務所体制履歴

水防時の河川水位（高潮含む）及び尾原ダム、志津見ダム等の状況に応じて、事務所支所において注意体制、警戒体制をとっております。

日時	体制	理由
8月13日 4時40分	注意体制	斐伊川放水路分流堰が洪水警戒体制に入ったため。
8月13日 11時10分	警戒体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇するおそれがあるため。
8月13日 21時00分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、今後水位上昇のおそれがないため。
8月14日 16時20分	警戒体制	木次水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇するおそれがあるため。
8月15日 13時00分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、今後、水位上昇のおそれが見込まれないため。
8月17日 23時50分	警戒体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇するおそれがあるため。
8月18日 1時30分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、今後、水位上昇のおそれが見込まれないため。
8月20日 6時40分	解除	灘分水位観測所の水位が水防団待機水位を下回り、今後、水位上昇のおそれが見込まれないため。

6. 水防警報発表履歴

洪水や高潮による災害が発生するおそれがある場合に、水防団などに活動の目安となる水位等の情報を提供しました。

河川名	水位観測所名	待機	準備	出動	指示	待機	解除
斐伊川	木次	8月13日 7時30分	8月13日 9時20分				8月13日 22時00分
		8月14日 8時20分	8月14日 11時20分	8月14日 16時30分		8月15日 10時20分	8月15日 16時30分
斐伊川	新伊萱	8月13日 7時50分	8月13日 8時50分				8月13日 16時40分
		8月14日 11時30分	8月14日 15時40分	8月14日 21時30分		8月15日 4時00分	8月15日 10時30分
斐伊川	上島	8月14日 21時30分					8月15日 0時20分
斐伊川	大津	8月13日 9時30分					8月13日 12時30分
斐伊川	灘分	8月13日 8時40分	8月13日 9時50分	8月13日 11時20分			
		8月14日 3時20分	8月14日 10時20分	8月14日 18時10分			
		8月15日 18時50分	8月17日 21時00分	8月18日 0時00分		8月18日 15時40分	8月20日 6時40分
宍道湖	松江	8月13日 6時50分	8月14日 7時30分				8月15日 8月17日 4時30分
		8月17日 16時50分					

7. 洪水予報発表履歴

洪水が発生するおそれがある場合に、気象庁と国土交通省が共同で雨量や水位の情報を周知しており、この度の出水で斐伊川では、氾濫注意水位を超え、さらに水位上昇のおそれがあったため、**斐伊川氾濫注意情報**を発表しました。

予報番号	種類	発表日	発表時刻	河川名
1	斐伊川氾濫注意情報	8月13日	11時30分	斐伊川
2	斐伊川氾濫注意情報解除	8月13日	21時00分	斐伊川
3	斐伊川氾濫注意情報	8月14日	16時40分	斐伊川
4	斐伊川氾濫注意情報解除	8月15日	13時00分	斐伊川
5	斐伊川氾濫注意情報	8月18日	0時10分	斐伊川
6	斐伊川氾濫注意情報解除	8月18日	1時30分	斐伊川

参考

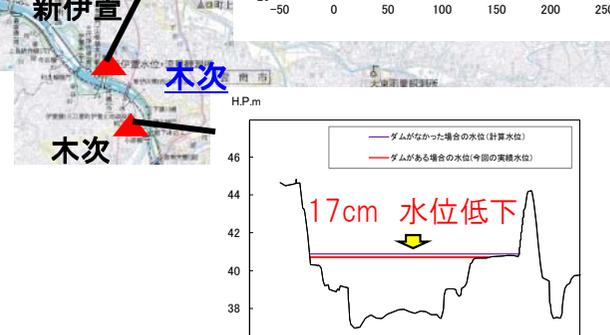
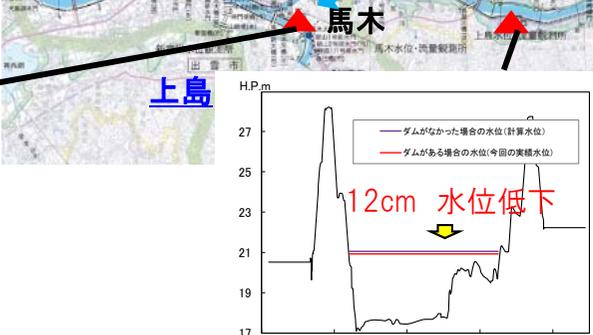
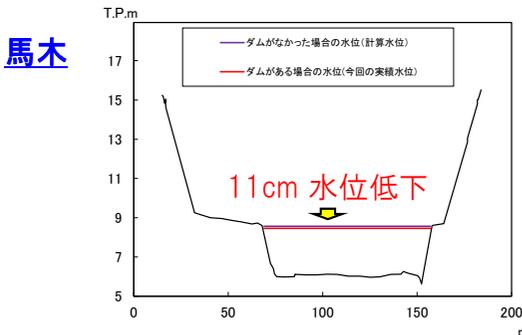
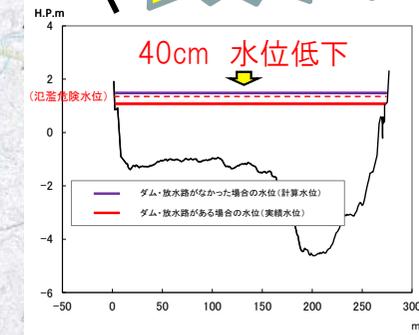
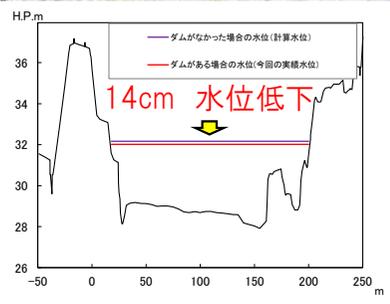
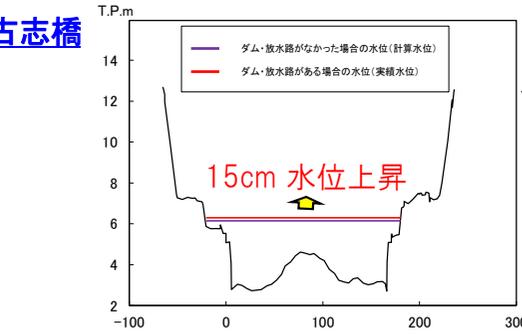
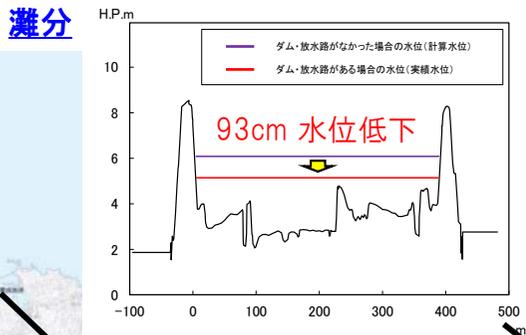
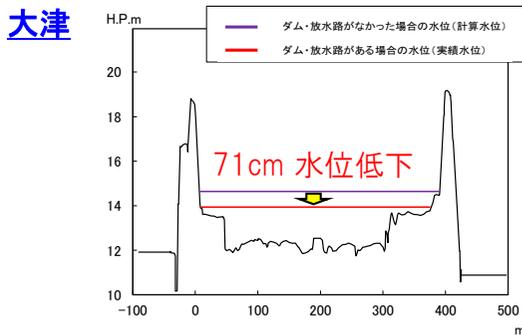
レベル	水位など	基準水位観測所における設定水位の意味 (危険な箇所を設定した以下の水位を、基準水位観測所地点の水位に置き換えて設定)
5 4 (危険)	氾濫の発生	【氾濫危険水位】(特別警戒水位) ・市町村長の 避難指示の発令判断の目安 ・住民の避難判断の参考になる水位 (水位設定の考え方)
	(特別警戒水位) 氾濫危険水位	堤防等の構造の基準となる水位(計画高水位)若しくは、リードタイム(避難完了までに、避難指示の発令、情報伝達及び避難等に要する時間)から設定される水位のいずれか低い水位
3 (警戒)	避難判断水位	【避難判断水位】 ・市町村長の 高齢者等避難の発令判断の目安 ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起
2 (注意)	氾濫注意水位 (警戒水位)	【氾濫注意水位】 ・水防団の出動の目安
1	水防団待機水位	

おばら しつみ ひいかわ ほうすいる 尾原ダム、志津見ダム及び斐伊川放水路の整備効果

速報

- 斐伊川放水路では、**分流を実施し、最大毎秒約570m³を分流。**
- 尾原ダムでは、**最大流入量毎秒約420m³のうち毎秒約120m³を低減し、ダム下流の木次観測所地点で、ピーク水位を17cm、新伊萱観測所地点でピーク水位を14cm、上島観測所地点で、ピーク水位を12cm低減させる効果があったものと推定。**
- 志津見ダムでは、**最大流入量毎秒約200m³のうち毎秒約90m³を低減し、ダム下流の馬木観測所地点で、ピーク水位を11cm低減させる効果があったものと推定。**
- 2ダム及び斐伊川放水路の効果により、斐伊川本川下流の灘分観測所で、ピーク水位を93cm、松江観測所で40cm低減したものと推定。結果として、松江観測所で**避難指示の目安となる氾濫危険水位超過を回避。**

観測所名	ピーク水位低下量
木次(きすき)	17 cm
新伊萱(しんいがや)	14 cm
上島(かみしま)	12 cm
大津(おおつ)	71 cm
灘分(なだぶん)	93 cm
松江(まつえ)	40 cm
馬木(まき)	11 cm
古志橋(こしばし)	-15 cm



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。
ダムなし、ダム・放水路なしの水位は推定値です。

※央道湖湖心観測所は、欠測のため評価していません。

斐伊川放水路の整備効果 (令和3年8月12日からの降雨による出水)

速報

- 放水路の供用開始以降、これまで計17回放水路へ分流を実施。(令和3年8月20日時点)
- 8月12日からの降雨による出水では、570m³/sを斐伊川放水路へ分流し、斐伊川本川下流への洪水流量を低減。合流先の神戸川では、大きな水位上昇もなく、安全に洪水を流下。

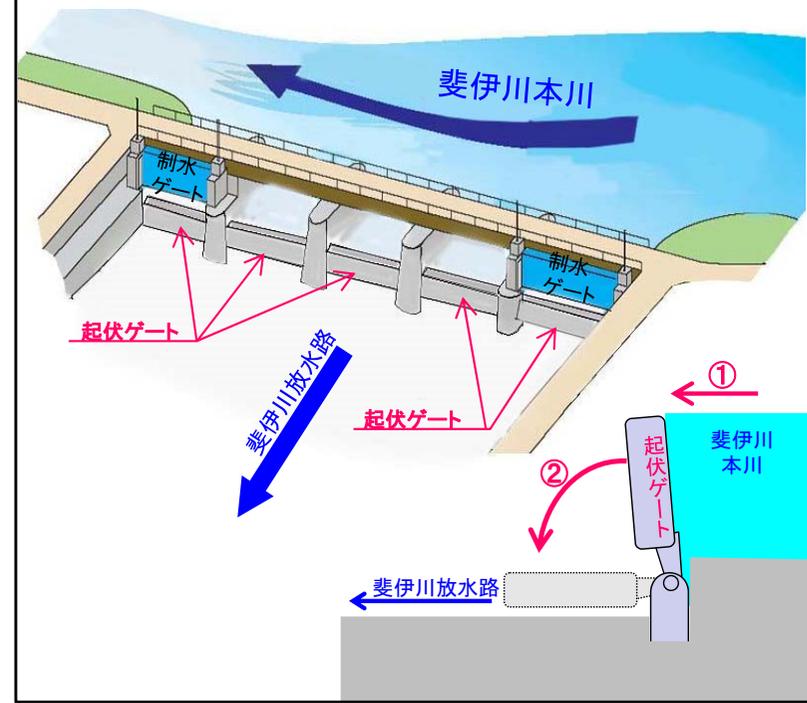
R3.8.12からの降雨における斐伊川放水路の運用状況

【斐伊川放水路への分流】

8月13日	7時48分頃	分流(自然越流)開始
8月13日	8時12分	分流堰起伏ゲート倒伏操作開始
8月15日	21時26分頃	分流が終了

斐伊川放水路分流堰のゲート操作について

- ※分流は分流堰地点の流量が
- ①毎秒400m³程度で斐伊川放水路に越流開始します。
 - ②毎秒500m³でゲートの倒伏操作を開始します。



近年の分流状況

【流量は速報値】

	分流開始	分流終了	斐伊川本川 (上島観測所) 最大流量	最大分流量
9回目	令和 2年 6月13日 14時25分頃	令和 2年 6月13日 23時00分頃	約 630m ³ /s	約 210m ³ /s
10回目	令和 2年 6月14日 8時55分頃	令和 2年 6月14日 14時00分頃	約 480m ³ /s	越流のみ*
11回目	令和 2年 6月14日 17時38分頃	令和 2年 6月15日 3時50分頃	約 730m ³ /s	約 240m ³ /s
12回目	令和 2年 7月14日 0時50分頃	令和 2年 7月14日 18時51分頃	約1,130m ³ /s	約 370m ³ /s
13回目	令和 3年 7月7日 10時11分頃	令和 2年 7月7日 10時30分頃	約 410m ³ /s	越流のみ*
14回目	令和 3年 7月12日 12時00分頃	令和 3年 7月13日 6時10分頃	約2,190m ³ /s	約 810m ³ /s
15回目	令和 3年 8月 9日 13時13分頃	令和 3年 8月10日 4時27分頃	約 740m ³ /s	約 240m ³ /s
16回目	令和 3年 8月13日 7時48分頃	令和 3年 8月15日 21時26分頃	約1,490m ³ /s	約 570m ³ /s
17回目	令和 3年 8月17日 20時08分頃	令和 3年 8月18日 3時20分頃	約 550m ³ /s	約 160m ³ /s

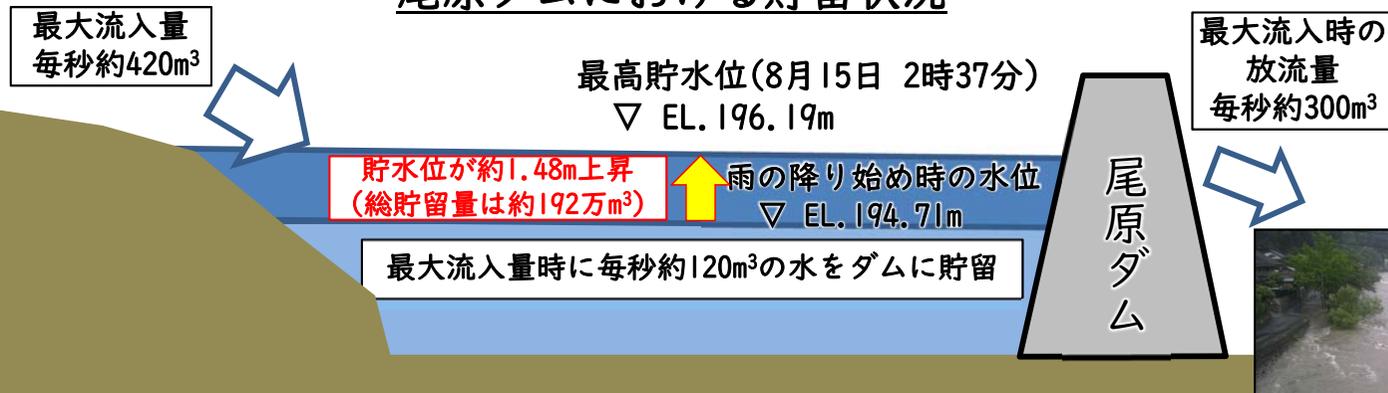


※堰を越流したのみで、ゲートは倒していません。

尾原ダムの防災操作による治水効果（令和3年8月12日～15日 前線）

- 尾原ダム上流では、降り始めからの流域平均累加雨量271mmを記録しました。
 - 今回の降雨による尾原ダムへの流入量は**最大毎秒約420m³**に達し、この際**毎秒約120m³**を尾原ダムに貯留しました。今回の操作により、尾原ダムに貯留した洪水は**最大約192万m³**(25mプール^(※)の約5,300杯分)です。
 - その結果、尾原ダム下流の木次観測所地点(雲南市木次付近)で**ピーク水位を17cm低減させる効果**があったものと**推定**。
 - 「**特別防災操作**」(ダム下流の更なる被害軽減を行うため、気象予測を活用し、ダムの空き容量を可能な限り有効活用し、放流量を通常よりも減じる操作)を**実施**し、尾原ダム下流の温泉施設周辺(雲南市木次町湯村付近)の**水位上昇を低減し、浸水被害を軽減**しました。
- (※) 小学校のプール容量：長25m×幅12m×深1.2m=360m³として換算

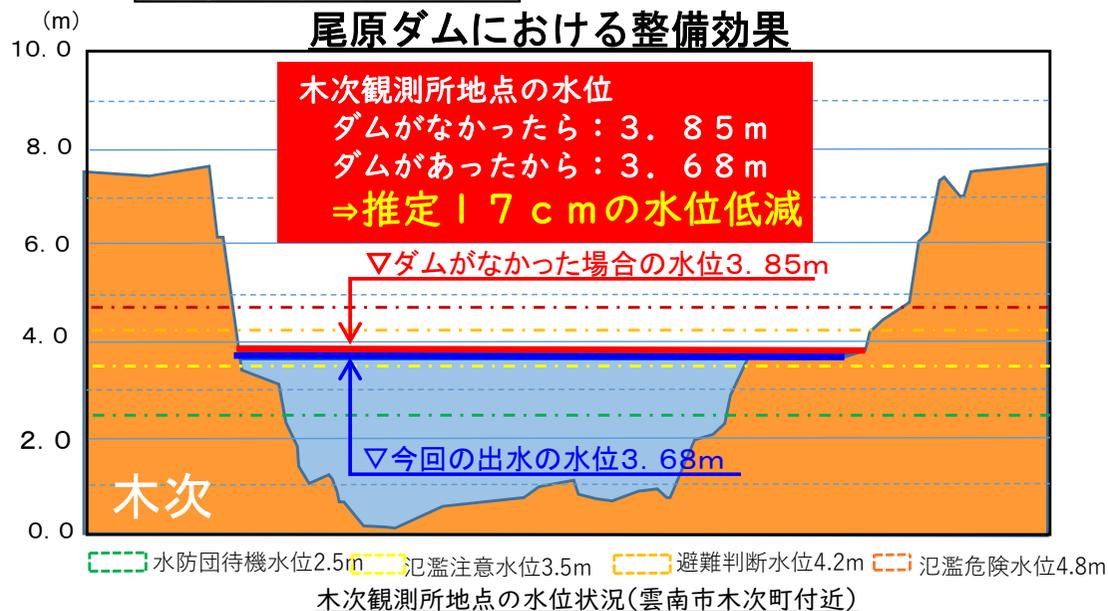
尾原ダムにおける貯留状況



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



尾原ダムにおける整備効果

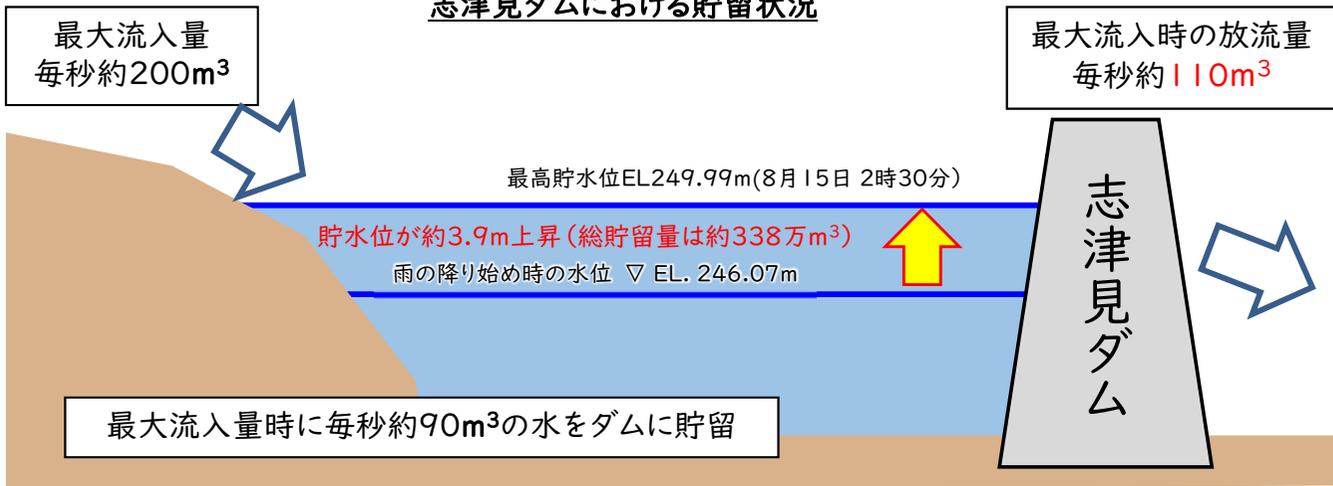


志津見ダムによる治水効果（令和3年8月12日～15日 前線）

速報

- 志津見ダム上流では、降り始めからの流域平均累加雨量225mmを記録しました。
- 今回の降雨による志津見ダムへの流入量は**最大毎秒約200m³**に達し、この際**毎秒約90m³**を志津見ダムに貯留しました。今回の出水により、志津見ダムに貯留した洪水は**最大約338万m³**（25mプール(※)の約9,400杯分）です。
- その結果、志津見ダム下流の馬木観測所地点（出雲市馬木付近）で、**ピーク水位を11cm低減させる効果があったものと推定。**
(※) 小学校のプール容量：長25m×幅12m×深1.2m=360m³として換算

志津見ダムにおける貯留状況



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



志津見ダムにおける整備効果

